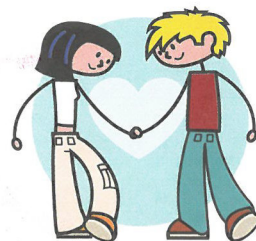


第37号 うつべ人権協ニュース

令和7年3月 発行
内部地区人権教育推進協議会



内部地区人権教育推進協議会は、「人が人として尊ばれ、住んでいてよかった 住んでみたいまち、うつべ」の実現をめざして、平成12年以来活動が続けています。

今年度内部地区で実施された人権に関する事業の内容を皆様にお伝えするために、「うつべ人権協ニュース」を発行して各戸にお届けします。是非ご一読ください。

人権講演会

人権ってなあに？～権利の保障と無意識の偏見を考えよう～



6月22日（土）に内部地区市民センター別館にて、四日市市人権センター統括教育相談担当の萱苗靖先生^{かやみょうやすし}をお迎えして人権講演会を開催しました。

「人権」とは「すべての人が持っている、誰にも奪うことのできない権利」です。「人権」を守るために大切なことは何でしょうか。

身近にあるさまざまな人権課題の解決に向けて、自分たちにどんなことができるのか、ご自身の経験を通して感じている思いを具体的でわかりやすくお話していただきました。

私たち一人一人の見方や考え方を改めて見直してみる良き機会となりました。

〈講演会後の感想より〉

・普段生活している中で、「人権」を意識していることは少ないけど、SNSや日常会話にも大きく関わっていることが分かりました。正しい情報を得ていくこと、発信する際にもよく考えてから発信するようにしたい。中学校の制服にも共用標準服があることを知って、子供たちにも伝えていきたい。身近な例や桃太郎の話を取り入れながら分かりやすく聞きやすい内容でした。子供より大人の方が刷り込みや偏見にとらわれやすいと感じます。これからもこのような講習を行ってほしいです。（40代）

・人権って何に、思いやり大切、優しさ大切、これから意識や差別、偏見をこれからゆっくり考えていきたい。良い勉強に参加させて頂き感謝です。ありがとうございました。参加人数が少なかったのが残念でした。（70代）

・今まで刷り込まれている情報が当たり前だと思って生活していましたが、ちょっと考え方を変えていかなければならない時代にきたと思います。話し方にも注意が必要なんだなあと思った。（70代）

人権コンサート ～ゴスペル～



11月17日(日)に「岩田史子と桑名ゴスペルクワイヤ」のみなさんをお招きして人権コンサートを開催しました。参加者は約50名で委員以外の一般の方にも大勢参加いただきました。コンサートは、観客も参加する楽しいものになりました。

ゴスペルをネットで検索すると、アメリカ発祥の音楽のジャンル、元来はキリスト教プロテスタント系の宗教音楽など出てきます。礼拝のための音楽ですがリズムに乗って足を踏み鳴らしたり手拍子

なども交えたりして独唱や合唱で歌われます。日本における宗教から受けるイメージとはずいぶんかけ離れた感じがします。

アフリカから奴隷として連れてこられたアフリカ系アメリカ人の先祖たちが作り歌ってきた黒人霊歌がルーツといわれます。

奴隷たちは自分達の気持ちや感情を自由に表現しゴスペルを歌い継いできたのです。

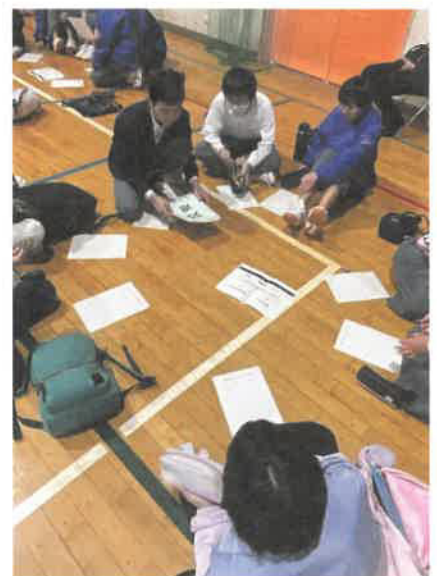
ゴスペルに、差別に耐えながら生きた人々の力強さを感じました。



内部地区子ども人権フォーラム



12月5日(木)に、内部中学校で、内部小学校と内部東小学校の6年生と内部中学校の2年生による人権フォーラムが行われました。内部地区人権教育推進協議会もオブザーバーとして参観しました。児童・生徒のみなさんが、グループ討議に真剣に参加している姿に感動しました。



人権地区懇談会開催

開催地区の自治会長及び人権協委員の皆様方のご協力を得て「懇談会」を開催することができました。

今年度は、「無縁社会と家族」というテーマで、「ヒーロー」という DVD を視聴して、小グループに分かれて懇談会を行いました。

近年、社会から孤立している人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっています。家族や地域、職場のつながり、いわゆる血縁や地縁の希薄化による問題です。こうした「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、私たちに何ができるのでしょうか。

DVD では、地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者としてではなく、主体的に行動することの大切さが描かれていました。

事後のアンケートから、普段話す機会のない方と会話できて良かったとか、地域に目を向けて助け合っていく大切さを感じたという感想が多く寄せられました。



10月5日 波木南台集会所



10月6日 南小松町集会所



11月1日 小古曽町公民館



11月2日 采女が丘コミュニティセンター



11月14日 南山の手クラブハウス



11月24日 波木が丘町第2集会所

内部地区文化祭 人権啓発コーナーより

11月10日（日）に内部小学校で内部地区文化祭が開催されました。「人権啓発コーナー」では、小・中学校の人権ポスターを展示しました。内部小学校、内部東小学校からそれぞれ8点、内部中学校から15点、合計31点出展していただきました。

どれも丁寧に仕上げられた力作ぞろいで、「いじめ問題」をあつかった「友達を大切にするこ
と」をテーマにした作品や「多文化共生」の視点で描いた作品など、人権に関わる様々な分
野での作品がみられました。

出展していただいたポスターを順不同で掲載します。



内部小6年 荒金 彩人



内部小6年 新 歩乃佳



内部小6年 伊藤 友菜



内部小6年 佐久間 純



内部小6年 川北 煌



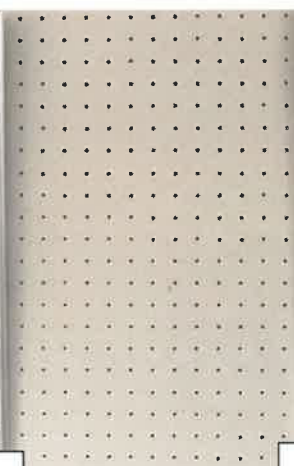
内部小6年 是枝 柚衣香



内部小6年 鬼頭 沙良



内部小6年 山川 凜



内部東小5年 江川結衣子



内部東小5年 大塚 陽菜

内部東小5年 宇佐美 花

内部東小5年 小林 侑愛

内部東小5年 古川 紘基



内部東小5年 山中 綾乃



内部東小5年 森井 健



内部東小5年 王 沁遥



内部中2年 長谷川心咲



内部中2年 宮本 真衣



内部中1年 藤井タリア



内部中1年 福田 結菜



内部中1年 田口 莉乃



内部中1年 後藤 優斗



内部中1年 小林見衣佳



内部中2年 相澤 圭飛



内部中1年 福間 朝登

内部中3年 原 峻吾

内部中1年 近藤 尊



内部中1年 清水 唯花

内部中2年 伊藤 桜嘉

内部中1年 伊藤 彩葉



内部中1年 宮本 虹太

文化祭で「人権アンケート」を実施し、123 名の方にご協力いただきました。

ありがとうございました。紙面の関係上一部を紹介させていただきます。

設問1 人権啓発コーナーをご覧いただき、いかがでしたか？

- ・たくさんのこのまちの人たちの人権への思いが知れて改めて人権について考えられて良かったです。(小学生)
- ・一人一人が人権について、とても深く考えることができる素敵なコーナーだと思います。(小学生)
- ・友だちの作品があったり、先輩の作品がとても上手で尊敬しました。(中学生)
- ・人権について様々な表現がされていていろいろなことを考えさせられる作品がたくさんあった。(中学生)
- ・人権のことについてよくわかった。(高校生)

- ・もう少し皆さんの目に付く場所に展示できれば良いのにもったいないと思いました。
(社会人)
- ・難しい漢字や英語表現もあり、レベルの高さを感じた。(社会人)
- ・人に知ってもらうことが大切であり、このコーナーはその為の大切な場所です。(社会人)

設問2 日頃、人権について考えたことがありますか。

- ・ある 74名
- ・あまりない 45名
- ・まったくない 4名

◆人権についてのあなたの考えをおきかせください。

- ・広い目で、色んな事を見る。(小学生)
- ・「女らしく」「男らしく」とか決めつけはよくないと思う。(小学生)
- ・みんなが仲良く楽しく暮らせるようになればいいと思う。(小学生)
- ・一人一人の意思とかを尊重すべきだと思います。(中学生)
- ・私は在日外国人です。本当にたくさんのことを知ってほしいです。(中学生)
- ・全ての人が同じ対応をされるべき。(高校生)
- ・他の人の意見や気持ちを考えて行動する。(社会人)
- ・人権について、まず「知ること」が大切。そして、全ての人が自分らしくのびのびと暮らすことができるようにしていかなければならないと思う。(社会人)

設問3 あなたが大切にしている事、家族で大切にしていることをおきかせください。

- ・人をいじめない。人を悪いように思わない。人を傷つけない。(小学生)
- ・たくさん家族の時間を作っている。(小学生)
- ・「ありがとう」とたくさん言える小学校にしたいです。(小学生)
- ・支援学級に通っている子供たちの人権を考えている。(小学生)
- ・人が嫌がることはしないようにしている。(中学生)
- ・家族で普段から話をするのが大切。家族で助け合って楽しく生活している。(中学生)
- ・コミュニケーションを大切にしている。(高校生)
- ・人権について学校の授業で勉強したことを家族にも教えてくれるのが良いと思います。
(社会人)
- ・お互いの気持ちを尊重しながら、思いやる気持ちを忘れず過ごすこと (社会人)
- ・その日の出来事を家族で話し合うなど家族内での対話を大切にしています。(社会人)
- ・温かい心、優しい心、挨拶、正しいことを守る、見守り、声掛けは大切 (社会人)



人権講演会 「へこたれへん」 ～人はきっとつながれる～

1月25日（土）に内部地区市民センター別館にて、みえ人権教育・啓発研究会代表の松村智広さんをお迎えして人権講演会を開催しました。

「へこたれへん」というテーマで、様々な出会いの中で培われた差別に立ち向かう力強い生きざまを語られました。

お子さんとお二人でM-I グランプリに挑戦されただけあって、ユーモアたっぷりの語り口調で、会場を笑いの渦に巻き込む場面も多くみられました。



講演会のアンケート調査では、全員の方が「とても良かった」と回答されていました。

〈講演会後の感想より〉

・ヘルプマークを知らない人も多いということを聞き、確かに知らないと行動できないことに気づきました。辛い人・苦しんでいる人がいることに気づいて助けられる人になりたいと改めて感じました（20代）

・「自分事として考える」といろいろな研修でもよく聞くが、自分の事に重ねて考えてみる、思いを巡らすという言葉がとても印象に残った。学習から行動を意識していきたい。（20代）

・お話を楽しく聞かせていただきました。目標をもって生きることが大切と言われました。保健室で子供の心と体の健康を守っていくことが今の目標です。今日は感謝です。（30代）

・軽快な話し方に引き込まれました。「人権とは人の内面を見る鏡」自分の中にある自分の知らない事を避けてしまう心を見つめ直していきたいです。（40代）

・「実感と実態は違う」という言葉が非常に心に残りました。たくさんの気づきがありました。自分自身がモヤモヤしていたことが、少しクリアになりました。また、モヤモヤすると思いますが、その度に学びたいと思います。（40代）

・先生の講演は何度も拝聴させていただいていますが、その度に自分の立ち位置はどうかと振り返られます。ありがとうございました。（50代）

・先生の話は久しぶりに聞きました。時々せつなくなる話もありましたが、元気をいただきました。「人は変われる」そのために教育・研修があるのだと思いました。（60代）

・面白おかしく楽しく聞かせていただきました。本当にありがとうございました。部落差別の内容がよくわかりました。ハンセン病いろいろと理解できました。（70代）

・肩の荷が下りた。心から血が流れている。自覚なき差別。人権感覚が高まる。（80代）